

## 告 辞

晴れの卒業式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。

今、皆さんは、それぞれの道に向かって、夢を描き、決意を新たにしていることと思います。これまでの学校生活で育んだ学ぶ姿勢、友情や思いやり、鍛えた心身は、今後の人生の力強い支えとなるに違いありません。

しかしながら、皆さんがこれから歩む社会には、少子高齢化や地球温暖化など、克服すべき問題が山積しています。また、経済・産業のグローバル化が進み、あらゆる面において国際競争力を高める努力が求められています。

このような、変化のスピードが加速する時代にあつては、先が見えない不安感から、ともすれば、前に踏み出すことをおそれ、内向きの傾向になりがちです。

けれども、状況が厳しいときこそ、現実をしっかりと見つめ、課題を見だし、それに挑戦していくことが大切です。皆さんがこれまで、授業や学校行事、部活動などを通して培ってきた、自ら学び自ら考える力やコミュニケーション能力、行動力は、課題を解決する際に必ず生かされると信じています。

昨年6月、小惑星探査機「はやぶさ」が、7年にも及ぶ宇宙の旅を終え、地球に帰還しました。はやぶさは、数々のトラブルに見舞われながらも、小惑星から微粒子を持ち帰るという世界初の快挙を為し遂げました。帰還が絶望視される危機的な状況を何度も乗り越えられたのは、高度な専門性を持った技術者たちが、それぞれの立場で最善を尽くし、解決策を見いだしたからです。私たちは、多くの人の英知を結集することによって道が開かれることを学びました。

また、サッカーワールドカップ南アフリカ大会やアジアカップカタール大会では、本県で高校生活を送った本田圭佑選手が、攻撃の要として突破口を開くとともに、精神面でもチームを牽引し、日本代表の活躍に大きく貢献しました。現状に満足することなく、さらなる成長の場を求めて国際舞台に飛び込み、挑戦し続けている彼の姿に、未来を自ら切り拓いていく若者のたくましさを感じました。

これからの時代を担う皆さんは、たとえ困難に直面しても、むしろそれを好機として、決してあきらめることなく、夢や目的の実現に向かって、突き進んでください。そして、地球規模の視野で物事をとらえ、主体的に行動し、活力ある社会を築いていく人材となることを期待しています。

皆さんを今日まで温かく見守り、支えてくださった保護者や先生方への感謝の思いを胸に刻み、ふるさと石川に誇りと愛着を持ち、心豊かな人生を歩んでください。

皆さんの今後の健康と活躍を祈って、はなむけの言葉といたします。

平成23年3月

石川県教育委員会